

大曲厚生医療 センターだより

2023.7

Vol. 38

令和5年7月3日 発行

〒014-0027 秋田県大仙市大曲通町 8-65 秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター
TEL 0187-63-2111 FAX 0187-63-5406 URL <http://www.okmc.jp> E-mail info@okmc.jp 発行責任者/中川拓

ごあいさつ

診療部長（産婦人科）
佐藤 敏治



2022年4月より山本博毅診療部長の後任として赴任致しました、産婦人科の佐藤敏治です。祖父、佐々木嘉仲が、大曲の地で開業していた産婦人科医院で、大雪の年に里帰り分娩で生まれました。その後、幼少期は神奈川県で育ち、秋田大学医学部入学を機に1993年より秋田県に移住しましたが、大曲に帰ってきたのは40数年ぶりとなります。幼少期、夏休みに大曲に帰省した記憶では、駅前通りは映画館・デパート・商店が立ち並び、大変活気に満ちていました。当時の地図（下写真）をみると池田内科・小児科医院の向かい側に佐々木医院が建っていたようです。



1999年より産婦人科医として、2011年から秋田大学医学部附属病院にて主に婦人科悪性腫瘍の治療と、子宮頸癌における広汎子宮全摘では合併症である排尿障害を減らすため膀胱神経温存術に力を入れておりました。卵巣癌では、手術による肉眼的摘出が生命予後に直結するため、積極的な腸管合併切除や傍大動脈リンパ節郭清などを行って参りました。

研究では2013年ヒト卵巣奇形腫の発生機転とその臨床応用について2019年子宮内膜細胞診用液状検体の遺伝子検査を用いた漿液性腺癌検診の確立、2022年現在も非常勤講師として白金製剤による未成熟卵子の成熟・分裂能への影響とDNA 2本鎖架橋の修復機能の解明について、臨床研究を

行っております。

さて当院に赴任してから1年が経過しますが、赴任当時はCOVID-19の第6波で、感染した妊産婦さんが急増したためその対応に大変苦慮いたしました。2021年はCOVID-19陽性者は1例でしたが、2022年2月からの第6波では14名、2022年8月からの第7波では15数名と増加しました。当院では感染病床が4床しかなく、近隣の病院からの搬送受け入れもお断りすることも少なからずありました。当初は帝王切開による計画分娩を行っておりましたが、その対応が困難になったため、可能な限りの自宅待機と経膈分娩を取り入れることとしました。自宅待機と経膈分娩の組み合わせは、助産師を含めた医療従事者への感染のリスクがある一方、多くのメリットがあることが分かりました。1つは、待機中に感染力の低下を期待できること。分娩までにCOVID-19が治癒してしまう症例も多く経験しました。2つめは、母児隔離期間の短縮。以前は帝王切開による計画分娩を行っており、母児隔離期間が1週間前後となり、退院するまで赤ちゃんに会えないという大変辛い思いをさせておりました。自宅待機を取り入れることで、赤ちゃんと触れ合うまでの日数の短縮することができました。

婦人科領域では、手術不能の進行卵巣がん症例でも、化学療法施行後の積極的な肉眼的がん腫摘出（R0）手術を積極的に取り入れました。また子宮体癌における骨盤リンパ節郭清も施行し、昨年度は平均リンパ節は30個と全国平均をうわ回る郭清レベルであると自負しております。また骨盤リンパ節郭清術後にリンパ浮腫の予防のため、将来のセンチネルリンパ節ナビゲーション手術導入に向けた臨床研究を2023年3月より開始しております。

婦人科良性腫瘍の手術では、県南随一の低侵襲センターとして、積極的に腹腔鏡手術を取り入れております。さらに2022年12月からは、腹部に手術痕すら残さない経膈的内視鏡手術（vNOTES）や2023年3月からは骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨腔固定術を導入しております。

最後になりますが、産婦人科疾患での症状や治療のことで何か気になることがあればお気軽にお声がけいただければと思います。それでは今後ともよろしく願いいたします。

れんけい室タイムズ FACE TO FACE

Vol.32

室長あいさつ



副院長（脳神経外科） 柳澤 俊晴

皆さん、こんにちは。地域医療連携室の柳澤です。昨年、地域医療連携室のスタッフの一員になってから1年が経ちました。新型コロナウイルス感染症により、“顔が見える連携”が難しい状況でしたが、このたび新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが2類相当から5類感染症になりました。今年は少しずつ、“顔が見える連携”の復活を進めていきたいと意気込んでいます。

また、5類に移行したことで、同感染症が幅広い医療機関で診察されることもあろうかと思えます。当院は大曲・仙北医療圏の基幹病院として新型コロナウイルス感染症患者さんの診察・治療を行ってきました。その経験を皆さんと共有し、地域住民の健康維持に貢献できればと考えています。

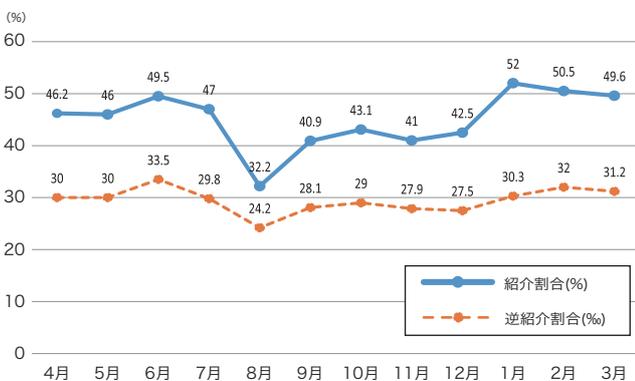
スタッフ一同、今後とも大曲厚生医療センター、地域医療連携室を宜しくお願いたします。



実績報告

令和4年度 紹介割合・逆紹介割合

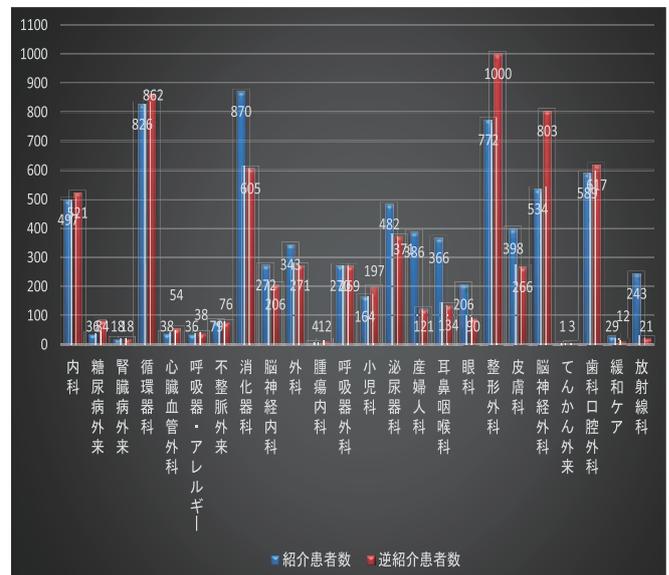
令和4年度の紹介割合・逆紹介割合の推移です。紹介割合の平均は44.2%、逆紹介割合の平均は29.4%でした。今後も、専門的な検査や治療が必要な患者さんの受け入れとともに、状態の安定した患者さんが住み慣れた地域で療養できるように支援してまいります。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介割合(%)	46.2	46	49.5	47	32.2	40.9	43.1	41	42.5	52	50.5	49.6
逆紹介割合(%)	30	30	33.5	29.8	24.2	28.1	29	27.9	27.5	30.3	32	31.2

令和4年度 科別紹介患者・逆紹介数 (R4.4~R5.3)

令和4年度の科別紹介患者・逆紹介患者数です。急性期の治療が落ち着いたり、慢性疾患で投薬のみの患者さんは、積極的に「かかりつけ医」への紹介(逆紹介)をさせていただいております。





『糖尿病内科医として』



医長（糖尿病内科） 若林 茜

今年4月から糖尿病内科医として赴任しました若林茜です。当院の糖尿病外来は、もともと内科外来の一角として大学病院医師が診療を行っていました。この度常勤の医師として診療に携わることとなり、緊張しつつも身が引き締まる思いです。

糖尿病というたったひとつの疾患に対して糖尿病内科という科が成り立っているというのは、実はとても珍しいことです。それだけ糖尿病患者人口は多く、その上病状や治療内容は非常に多岐に渡っているのです。そんなメジャーな疾患である糖尿病ですが、「糖尿病になったら一生甘いものを食べられないの？」

「自分はまだ糖尿病予備軍だから何もしなくても大丈夫でしょ？」「不摂生な人だけが糖尿病になるんだよね？」等、様々な声を耳にします。病名の認知度は非常に高いのに、実態の認知度が追いついていないのが現状です。日々の診療だけではなく、糖尿病というのは一体どのような病気なのか、どのような治療・対応をしなければならないのか、患者さんだけでなく医療スタッフへの周知活動も糖尿病内科医としての使命と

感じています。

糖尿病の怖いところは、自覚症状が無いまま取返しのつかないところまで合併症が進んでしまう点です。眼、腎臓、神経、心臓、脳血管など、重要な臓器がダメージを負い、日常生活に支障が出てしまう方がたくさんいらっしゃいます。実は糖尿病治療薬は、30年と少し前にはインスリン注射と2種類の内服薬しか存在しませんでした。現在はGLP-1受容体作動薬というインスリン以外の注射製剤が開発され、また内服薬は9種類にまで増えました。より安全で、より効果的な治療ができるようになってきました。患者さんひとりひとりの生活スタイルや病態に合わせたテーラーメイドな治療ができる点は、糖尿病診療の魅力と考えています。

糖尿病の話ばかりになってしまいましたが、実際は甲状腺疾患や内分泌疾患など様々な疾患の診断、治療も行っています。各科、各部署、院外のクリニックにもお世話になることが多いと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

トピックス



『残薬調整を知っていますか？』



薬剤長 佐藤 浩保

残薬（ざんやく）とは飲み忘れや飲み残しなどで余った薬のことです。薬剤師は患者様にお薬をしっかりとのんでいただくよう説明をする反面、残薬を確認し、医師に処方日数の調整を依頼したりします。これを残薬調整といいます。

病院薬剤師の業務の一つに入院時の持参薬確認があります。きちんと服用されている方もおられますが、山のように残薬を持参される方もおられます。薬を毎日正しく服用することは簡単なことではありません。「うっかり飲み忘れ」や「種類が多くて飲めない」、「錠剤が大きくて飲みにくい」など残薬の原因は様々です。中には、薬を飲まなかったことで症状が改善せず、医師がさらに多くの薬を処方して残薬が増えるという悪循環に陥るケースもあります。薬剤師は、薬が余った理由をお聞きして、残薬の調整や正しく飲むための方法を考え、必要ならば

薬の変更について医師に相談します。

厚生労働省によると残薬の総額は年間およそ500億円にもなると言われ、社会的にも問題となっています。また、後発医薬品企業不正発覚以降、一部の薬は出荷制限が続いており、品薄状態となっています。残薬調整することで不要な薬を減らすことは医療費削減につながり、限りある薬を大切にすることになります。

当院では、令和5年3月1日より地域の保険薬局と処方箋の問い合わせを簡素化する「院外処方箋における事前同意プロトコル」を取り交わしています。残薬調整についても患者様と保険薬局で調整しやすい体制となっています。

残薬はありませんか？お困りの方は、薬剤師にお気軽にご相談ください。

ためになる話 心臓リハビリテーション



近年、生活習慣の欧米化に伴い心臓に病気を持つ方も増えてきています。代表的な疾患として、心不全、心筋梗塞、狭心症、不整脈、弁膜症などがあります。心臓リハビリテーションとは、このような心臓に病気を持つ患者さんが、体力を回復して快適な家庭生活や、社会生活に自信を取り戻して復帰するとともに、再発や再入院を防止することを目的して行う総合的活動プログラムのことです。プログラム内容として、運動療法と学習活動、生活指導、カウンセリングなどを行います。

心臓に病気を持つ患者さんは、心臓の動きが低下し、また安静生活を続けたことで、運動能力や体を調節する動きが低下しています。そのため発症してすぐには激しい活動はできませんし、どの程度活動してよいのかが分からないため不安もあります。これらに対して、心臓リハビリテーションで適切な運動療法と生活指導などを行うことが必

要になります。さらに、病気の原因となる動脈硬化の進行を防止することを目指して、食事指導や禁煙指導などの生活習慣に関する指導も行います。心臓リハビリテーションは、専門知識を持った医師、理学療法士、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士など多くの専門医療職が関わって、患者さん一人ひとりの状態に応じた効果的なリハビリプログラムを提案し、実施していきます。

心臓リハビリテーションの効果はこれまでの研究によって多岐にわたって証明されています。心筋梗塞や、狭心症の患者さんが心臓リハビリテーションを行うことにより、行わなかった場合と比べて、心臓の病気による死亡率が26%低下し、入院のリスクが18%低下するとされています。心不全の患者さんに至っては、あらゆる入院が25%減少し、心不全による再入院が39%減少することが証明されています。さらに心臓リハビリテーションに参加することで、生活の質 (Quality of life) が改善し、毎日をより快適に過ごすことが出来るようになります。心臓リハビリテーションは、心臓に病気を持つ方の快適な生活を取り戻し、再発を予防するために大切な治療の一つです。



外来診療担当医一覧

令和5年7月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	受付時間等
内科 (血液・腎)	渡部 敦 仁村 隆	阿部 滉	齊藤 暉人 仁村 隆	山中 康生	阿部 滉 仁村 隆	8:30~11:00
	腎臓病外来 齊藤 綾乃	山中 康生	腎臓病外来 阿部 史人	渡部 敦	腎臓病外来 佐藤 隆太	予約制
糖尿病内科	若林 茜	若林 茜	若林 茜	大友 瞳	小木田彩香	完全予約制
内科 (循環器)	秋田大学 佐々木 琢	三浦 健 ペースメーカー外来 高橋陽一郎	秋田大学 田村 善一	関 みちる ASO外来 高橋陽一郎	田村 善一 不整脈外来 寺田 健	新患診療 8:30~11:00 予約制 (ペースメーカー外来/ ASO外来/不整脈外来)
		呼吸器・アレルギー (秋田大学)			呼吸器・アレルギー (秋田大学)	(火)13:00から 予約制 (金)11:00まで 予約制 初診時は紹介状必要
			心臓血管外科 (秋田大学)			心臓血管外科予約制 初診時は紹介状必要
内科 (消化器)	沖口 将夫 小野地研吾	三浦 雅人 藤原 純一	小野地研吾 秋田大学	沖口 将夫 佐藤 悠磨	藤原 純一 沖口 将夫	8:30~11:00
脳神経内科	市川 大/鎌田幸子		舟坂穂希/市川 大		鎌田幸子 市川 大/舟坂穂希	予約制 初診時は紹介状必要
小児科	桜庭 聡美 大村 映子	小山千嘉子 大村 映子	桜庭 聡美 小山千嘉子	桜庭 聡美 大村 映子	小山千嘉子 大村 映子	8:30~11:00
				神経外来 矢野珠巨(第1・3)		神経外来 第1・3(木) 予約制 心臓外来 第1・3(金) 13:30~ 予約制
外科	三浦 康	荒木 孝明	東北大学	林 啓一	担当医	8:30~11:00 (木)腫瘍内科(秋田大学)
呼吸器外科	中川 拓 工藤 智司	手術日のため 再診のみ9:30まで	中川 拓 工藤 智司	手術日のため 再診のみ9:30まで	中川 拓 工藤 智司	8:30~11:00
	亀山孔明/小林未来		秋田大学/小林未来		小林 未来	
泌尿器科	熊澤光明(第2・3) 神崎正俊(第1) 灘岡純一(第4)	神崎 正俊	熊澤 光明	熊澤 光明	神崎正俊・灘岡純一 (隔週交互の診察)	8:30~11:00
	船越 佑大	灘岡 純一	灘岡 純一	神崎 正俊	船越 佑大	
産婦人科 (婦科)	長尾 大輔	佐藤 敏治	藤島 綾香	長尾大輔(第1・3・5) 藤島綾香(第2・4)	佐藤 敏治	8:30~11:00
	病棟医または 大学医師	病棟医	病棟医	病棟医	病棟医または 大学医師	
耳鼻咽喉科	藤島 綾香		長尾 大輔	佐藤 敏治	佐藤 綾	8:30~11:00 (月1回 嚔下・補聴器外来)
	垂石 羊司 浅香 力	垂石 羊司 浅香 力	応援医師	垂石 羊司 浅香 力	応援医師	
整形外科	阿部 利樹 赤川 学	阿部 利樹 阿部 和伸	阿部 利樹 赤川 学	嘉川 貴之 岩本 陽輔	嘉川 貴之 阿部 和伸	8:30~11:00
	岩本 陽輔	高橋 靖博			高橋 靖博	
	石河 軌久 伊藤 拓	石河 軌久	石河 軌久	秋田大学 石河軌久/伊藤 拓	伊藤 拓 秋田大学	
脳神経外科	大前 智也	柳澤 俊晴	柳澤 俊晴	大前 智也	大石 渉(第1・3・5) 濱崎 亮(第2・4)	8:30~11:00
	柳澤 俊晴	濱崎 亮	大前 智也	柳澤 俊晴	大前 智也	8:30~10:00
緩和ケア科	大嶋重敏/秋山博実		大嶋重敏/秋山博実	大嶋重敏/秋山博実		完全予約制
眼科	高橋 永幸	秋田大学	高橋 永幸	秋田大学	高橋 永幸	8:30~11:00 (火)予約のみ(木)8:30~10:00
放射線科	安倍 明		安倍 明	安倍 明	安倍 明	予約制
歯科口腔外科	山崎 雅人	手術日のため 午前中の再診のみ	山崎 雅人	山崎 雅人	山崎 雅人	予約制
	石田 昂		石田 昂	石田 昂	石田 昂	初診時は紹介状必要
麻酔科	大高 公成				大高 公成	予約制 週周期外来

※土・日曜日と祝祭日は全科休診です